

けんしゅうしましよ

12号
R2. 1. 17
文責 森

教師力アップ研修を終えて

12月16日（月）光村図書北海道支社より南部正孝支社長をお招きして「教師力アップ研修会」を行いました。令和2年度版国語科教科書の内容と特色について、講演をしていただきました。



<光村図書 国語科教科書の主な特色>

- 単元扉…どう学ぶか、何を学ぶかが始めのページでわかる。
学習の見通しをもち、学びへの構えをつくる。作品、文章への興味をもたせる。
- 学習の手引き…上段・下段を対応させながら学習を進める。
- 「情報」教材
情報活用の仕方、文章理解や自分の考えの表現をともなった場面で習得・活用できる構成に。
- 「言葉の宝箱」…豊かな語彙力を育てる。
- 文学教材・説明文教材での書き下ろしの作品が多い。
- 二次元コードによる学びの広がり
 - ・QRコードは家庭での学習にも利用できる。
 - ・低学年の物語文ではQRコードで紙芝居のようなアニメーションを観ることができる。

<質疑応答より>

- 説明文の前に「練習」教材があるのは…
⇒説明文でつまづきやすいので練習教材を入れることで、より理解しやすいようにしてある。
- 5・6年が上下巻に分かれていないのは…
⇒1年間の学習を見通せる、振り返りがしやすい、単元の入替えがしやすい、「中1ギャップ」軽減などの理由から1冊にまとめている。
- 学習用語の初出一覧が、学年のつながりがわかりやすくよい。
⇒他社の教科書にはない。学習指導要領に準拠して作られている。
- 物語文「お手紙」は2年下の教科書にある。教育出版では1年生に学習済のため、代替教材として「えいっ」が予定されている。

光村図書の教科書は、学習を積み重ねていくことで力がついていくように作られていて、ページ数が教育出版よりも多いようです。学習を助ける多くの資料をどう活用していくかを考え、軽重つけて扱っていく必要があると思われます。今回の研修で教えていただいた特色を生かして、来年度授業作りをしていけるといいですね。